

# 放置された里山を整備し登山道の機能を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：江田島市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・かつて、野登呂山から三高山にかけて遊歩道が存在したものの、長年にわたって山の手入れがなされていなかったため、登山道としての機能が損なわれていた。
- ・市民からは、「放置された里山林を整備して欲しい」との要望が出されていた。

## 今後の展開

- ・事業が完了するまで、あと2年程度、時間を要する見込みである。
- ・遊歩道の整備に加えて、瀬戸内ならではの眺めを臨むことができるように整備を行う。

## 取組の内容

- ・事業主体：江田島市
- ・実施場所：江田島市沖美町内
- ・業務委託先：広島県森林組合連合会
- ・業務量：0.66ha
- ・業務金額：4,070,000円
- ・業務期間：令和2年11月3日  
～令和3年3月19日



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・整備していることが認知され、登山に対する問い合わせが増加している。

### 【悪かった点】

- ・整備が進むにつれて、登山者から未整備区間の改善点や整備済み区間からの眺望に対する要望が寄せられている。
- ・登山者の意見を踏まえながら整備を進めたい。

